



# 保健だより



2018年12月

認定こども園 大津保育園

年の瀬を迎え、何かと慌ただしい12月。生活リズムも乱れ体調を崩しがちです。また、感染症も流行する時期です。子ども達にとって、クリスマスやお正月と楽しいことがいっぱい！！元気に冬のイベントを楽しめるよう、体調管理には十分気をつけましょう。



## ～冬にかかりやすい子どもの病気～

- インフルエンザ ●RSウイルス感染症 ●マイコプラズマ感染症
- 感染症の胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス）

## 気をつけよう！「ノロウイルス感染症」

主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、軽度の発熱が見られます。乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層で引き起こすウイルスです。感染した人の便や嘔吐物には、ウイルスが大量に含まれています。予防には、手洗い、食品の加熱、便や嘔吐物の適切な処理が大切です。

### <嘔吐物の処理について>

素手で触らず、必ずビニール手袋、マスク、エプロンを着用して下さい。雑巾、タオル等で嘔吐物をしっかり拭き取って下さい。拭き取った雑巾、タオルはビニール袋に入れて密封し捨てて下さい。嘔吐物の消毒は市販の塩素系消毒剤（漂白剤）を希釈（塩素系消毒剤 10ml：水 500ml＝1000ppm）したものを使用して下さい。

職員研修で嘔吐物処理の正しい方法を学びました



## 気をつけよう！「マイコプラズマ感染症」

マイコプラズマニューモニエという病原体（細菌とウイルスの中間の大きさと性質）が原因で気管支炎や肺炎などの呼吸器感染症を引き起こします。肺炎の10～20%がマイコプラズマによって起こると言われています。発症年齢は5～14歳に多いと言われますが、大人や乳幼児にも感染します。くしゃみや咳で飛び散ったウイルスを吸い込んだり、鼻水のついた手で触れたタオルや食器で感染が広がります。家に帰ったら、手洗い、うがいを徹底しましょう。また、マスクを着用するなど感染症予防対策をしっかりとすることが大切です。

### <保育園での感染症予防対策>



風邪予防の為、毎日緑茶うがいをしています。

外遊びの後や、給食前には手指のアルコール消毒をしています。



感染症が流行した時はマスクを着用して感染予防に努めています。